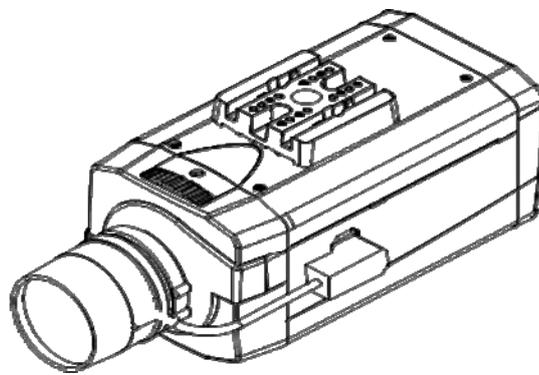


取扱説明書

ワイドダイナミックカメラ

SCB-6200WD



このたびは、ワイドダイナミックカメラをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。
保証書には必ず必要事項を記入してください。

免責について

本製品は、映像監視を目的とするものであり、発生した事故・損害等を補償するものではありません。

お客様による商品の分解、修理または改造を行われた場合もしくは、保証書に記載される保証対象外となる条件に適合する場合は、保証期間内であっても有償修理の対象になる場合があります。

個人情報保護について

本製品にて撮影された個人を判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。映像情報については、適正にお取り扱いください。

安全上のご注意

ご使用前にこの欄を必ずお読みになり、正しくお使いください。

この欄の注意事項は、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより、死亡または重傷などを負う危険性が想定される内容です。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が損害を追う可能性が想定される内容および、物的損害の発生が予想される内容を示しています。

絵表示の例

 分解禁止	 接触禁止	 禁止	してはいけない「禁止」内容です。
 強制			必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物破損の原因となります。

必ず販売店に依頼してください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災、感電、故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り販売店にご相談ください。



分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。

内部の点検は、販売店にご依頼ください。



雷がなりだしたら本体、ケーブル、電源プラグなどには触れない。

感電の原因となります。



異常があるときは、すぐに使用をやめる

煙が出ている、変なおいがある、落としたりケースを破損した、接続ケーブルが傷んだ、画面が映らないなどの場合は、すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。



振動のないところに設置する

取付ねじやボルトがゆるみ、落下などの事故の原因になります。



設置場所の強度を確認する

取付金具を含む質量に十分耐えられる強度のあるところに設置してください。

十分な強度がないと、落下などの事故の原因となります。



塩害や腐食性ガスの発生するところに設置しない

取付部が腐食して、落下などの事故の原因となります。



注意

配線は電源を切ってから行う

感電の原因となります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。



ぶら下がらない、足場代わりにしない

落ちたりしてけがの原因となります。



定期的な点検をする

取付部の劣化などにより、落下などの事故の原因となります。

定期点検は、販売店にご依頼ください。



使用上のご注意

長時間ご使用いただくために

周囲温度-10～+50℃（推奨温度 40℃以下）、湿度 80%以下（結露なきこと）の場所でお使いください。

清掃は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

※シンナー・ベンジン・化学雑巾などは使用しないでください。変形・変色などの原因になります。

強い光にカメラを向けないでください。

画面にスミア・ハレーションなどを生じさせることがあります。また CCD を劣化させ、撮影画像が変色することがあります。

レンズの清掃

レンズクリーニングペーパー・レンズクリーニング液などを使用してください。

設置上のご注意

十分な強度のある場所に取り付けてください。

落下、破損の原因となることがあります。強度が不十分な場所に取り付ける場合、十分な補強を施してください。

ネジやボルトはしっかり締め付けてください。

傾きや落下の原因となることがあります。

動体検出機能について

本機に搭載されている動体検出機能は、一般に設定エリア内の輝度変化を感知して検出する機能です。以下のような場合、感知しにくい、感知しない、誤動作などが発生する場合があります。

- ・低照度環境での撮影
- ・被写体の動きが遅い
- ・車のヘッドライトなど、外光が入る可能性のある環境
- ・蛍光灯など、照明のチラつきがある環境
- ・樹木など風で動きが発生する可能性のある環境

動体検出機能を使用する場合は、十分な運用テストを行いながら設定してください。誤動作が問題となる場合は、外部センサーのご使用をお勧めします。

目次

1. 製品特長	7
2. 同梱品の確認	8
3. 各部の名称	9
4. 設置方法	11
4-1. 配線	11
①電源重畳の場合	11
②電源別送の場合	11
4-2. 設置	12
4-3. フランジバックの調整	13
5. OSD メニュー	14
5-1. OSD メニューの起動/ボタン操作	14
5-2. OSD メニュー一覧	15
5-3. OSD メニュー項目と初期値一覧	16
5-4. OSD メニュー設定	17
①レンズ	17
②露光	18
③WDR/BLC/FOG RE	19
④ホワイトバランス	21
⑤2DNR & 3DNR (Dynamic Noise Reduction)	23
⑥デイ/ナイト	24
⑦画質調整	27
⑧効果	29
⑨システム	33
6. 故障かな?	35
7. 仕様/外形寸法図	36

1. 製品特長

■48万画素の高画質 1/3 インチ CCD を機能搭載

水平解像度 680 本以上（中心部）を実現しています。

■ワイドダイナミックレンジ 60dB を実現

逆光の強いところ、明暗差の激しいところでも、高コントラストの鮮明な映像を映し出します。

■デイナイト機能搭載

照度を自動認識し、低照度になると自動的に高感度白黒映像に切り替わります。

■多彩な機能で幅広い運用が可能

プライバシーマスク、電子感度アップ機能、3DDNR（3次元デジタルノイズリダクション）、動体検出により、用途に合った運用を実現できます。

■電源重畳／別送式、いずれのシステムにも対応

電源重畳式は同軸ケーブル一本で映像出力・電源供給が行えます。

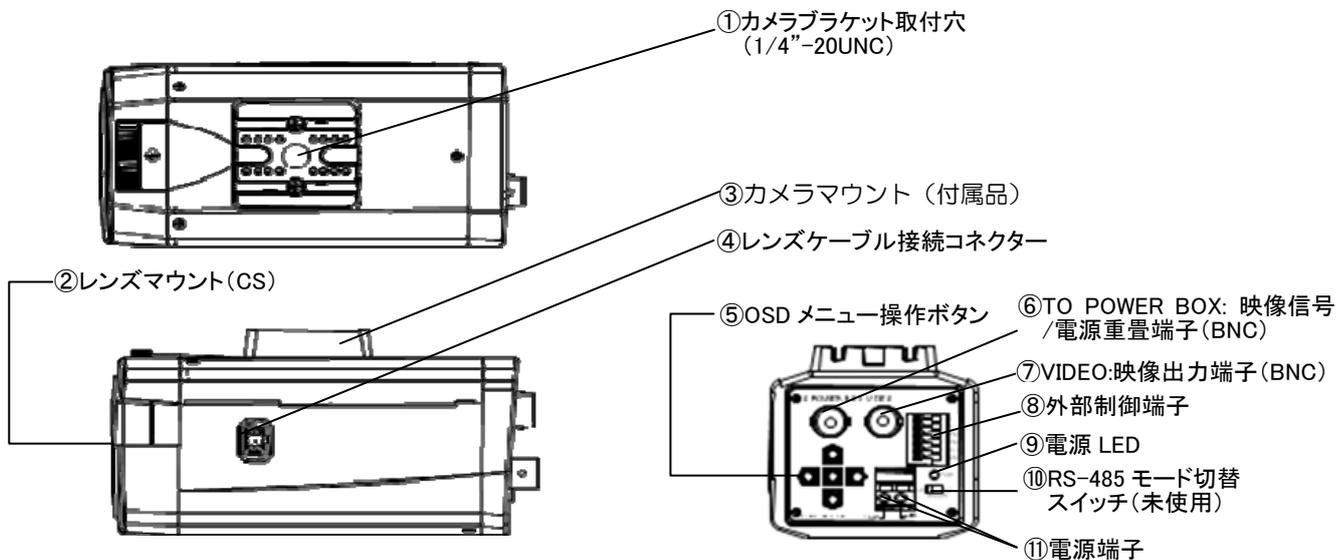
※同時併用はできません。

2. 同梱品の確認

カメラ本体に加え、以下の同梱品が入っていることをご確認ください。

クイックインストラクションガイド (1 部)	
安全上のご注意 (1 部)	
保証書 (1 部)	
カメラマウント (1 個)	
カメラマウント取付用 M2.5X3 ネジ (2 本)	

3. 各部の名称



①カメラブラケット取付穴 (1/4"-20UNC)	カメラ用ブラケットの取付けに使用します。
②レンズマウント (CS)	CS マウントのレンズを取り付けます。
③カメラマウント (付属品)	付属のカメラマウントを取り付けます。
④レンズケーブル接続コネクタ	DC オートアイリスレンズを使用する場合、レンズの DC オートアイリスケーブルを取り付けます。
⑤OSD メニュー操作ボタン	OSD メニューの設定に使用します。
⑥映像信号 / 電源重畳端子 (BNC) 表示: TO POWER BOX	カメラ駆動ユニットで電源重畳した BNC コネクタの同軸ケーブルを接続します。
⑦映像出力端子 (BNC) 表示: VIDEO	電源別送時に BNC コネクタの同軸ケーブルを接続します。 【使用上のご注意】 電源重畳した同軸ケーブルは絶対に接続しないこと。
⑧外部制御端子	外部からデイナイトを切り替えたり、動体検出時に警告を出力する場合などに使用する外部制御端子です。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 未使用: 本機では未使用です 2) 未使用: 本機では未使用です 3) Day & Night External Input 4) Day & Night Output 5) Alarm Out 6) Ground
⑨電源 LED	カメラに電源が供給されているときに緑点灯します。

(参照: 25、26、30 ページ)

⑩RS-485 モード切替 スイッチ（未使用）	本機では、未使用ですので、特に設定の必要はありません。 初期状態のまま、ご使用ください。
⑪電源端子	電源別送の場合、DC12V を接続します。極性にご注意ください。 【使用上のご注意】 電源重畳とは併用しないで下さい。故障の原因となります。

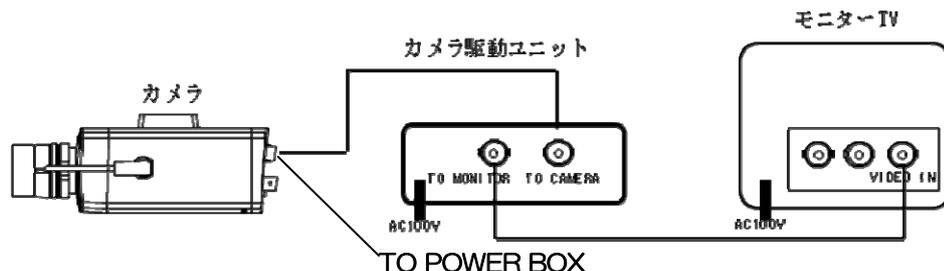
4. 設置方法

4-1. 配線

①電源重畳の場合

TO POWER BOX と表記された[映像信号/電源重畳端子 (BNC)]に専用のカメラ駆動ユニットからの同軸ケーブルを接続します。[電源端子]は使用しません。

(※対応カメラ駆動ユニット：SPU-1/SPU-40/SPU-900)



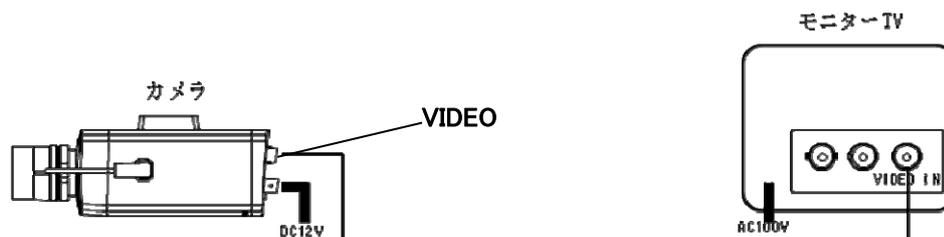
【使用上のご注意】

- ・カメラ駆動ユニットからの同軸ケーブルは、必ず”TO POWER BOX”と表記されたカメラ端子に接続してください。誤って、”VIDEO”と表記された端子に接続すると故障の原因となります。
- ・電源重畳と電源別送とは併用しないでください。故障の原因となります。

②電源別送の場合

VIDEO と表記された[映像出力端子 (BNC)]に同軸ケーブルを接続します。同軸ケーブルからは映像信号が出力されますので、デジタルレコーダー、分割機、モニター等に接続します。

[電源端子]には、DC12V 電源を接続します。(※推奨カメラ電源アダプター：SPA-100)



【使用上のご注意】

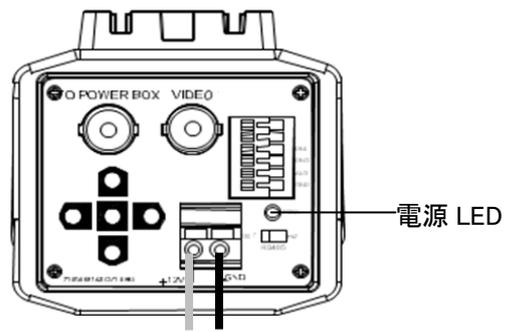
- ・電源重畳と電源別送とは併用しないでください。故障の原因となります。

- 1 2P プッシュターミナルブロックの上部のケーブルロック解除ボタンを押しながら DC12V の電源ケーブルを差し込みます。ボタンを離し、線が抜けないことを確認してください。[電源端子]には極性があります。カメラ背面の[GND]、[DC+12V]の表記に従って接続してください。



ケーブルロック解除ボタン

- 2 カメラに電源が供給されると、[電源 LED]が緑点灯します。



4-2. 設置

- 1 カメラ本体にレンズ（別売）を取付けます。

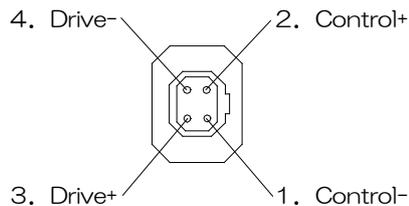
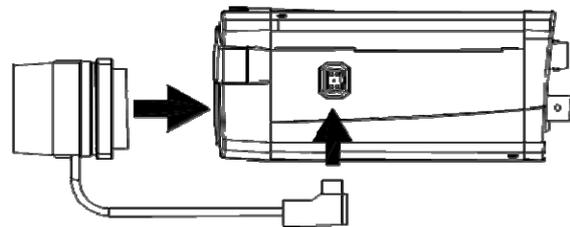
[レンズマウント (CS)] にレンズをねじ込みます。

レンズが DC オートアイリスの場合、カメラの [レンズケーブル接続コネクタ] に DC オートアイリスケーブルを指し込みます。

DC オートアイリスのコネクタのピンアサインは右図の通りです。

【参考】

- ・レンズの取扱説明書も参照してください。
- ・C マウントレンズをご使用の場合、別途ご相談ください。

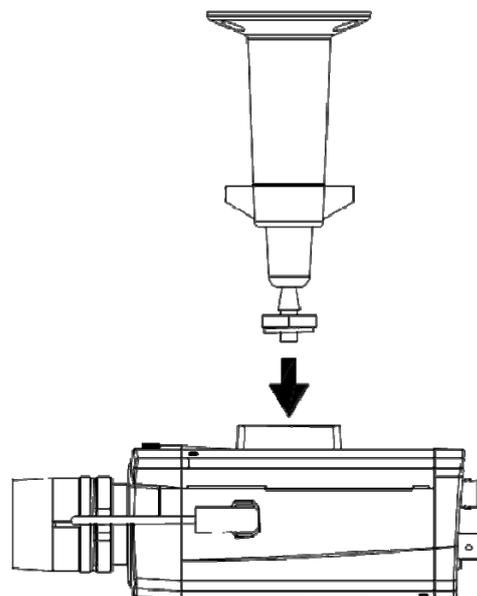


【使用上のご注意】
Video オートアイリスレンズには対応しておりませんので、接続しないでください。

- 2 カメラブラケット（別売）に取付けます。カメラ本体上面・底面にそれぞれある [カメラブラケット取付穴 (1/4" -20UNC)] を使用して固定してください。

【参考】

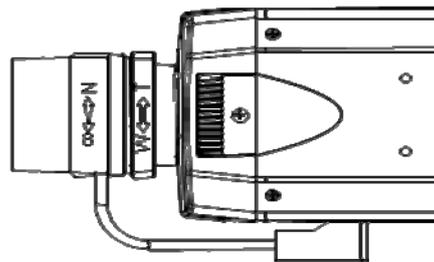
- ・カメラブラケットの取扱説明書も参照してください。



3 レンズの画角・ピントを調整します。

【参考】

- ・レンズの取扱説明書を参照してください。
- ・電源重畳時は映像出力端子（VIDEO）に現場調整用液晶モニターなどを接続して確認することができます。



4 OSDメニューから必要なカメラ設定を行います。

（参照：14 ページ「OSDメニュー」）

【参考】

- ・基本的には初期設定で撮影可能です。OSDメニューによる設定は必要に応じて行ってください。



【参考】

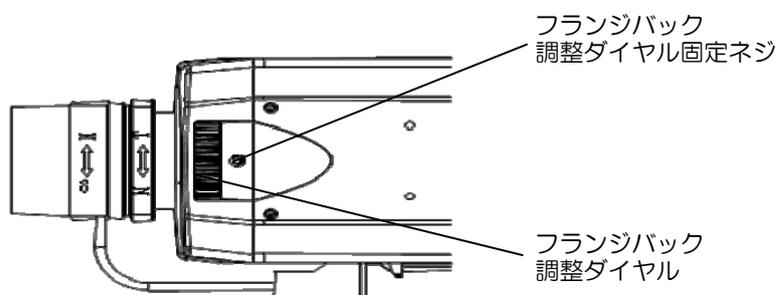
- ・ピントの調整は周囲が暗いときに行うことをお勧めします。周囲が暗いとき、ピントが合っているように見える範囲が狭くなるので、より正確にピントを合わせることができます。周囲が明るいときにピント調整を行う場合、市販のNDフィルターをレンズ前面にかざして調整することで、同様の効果を得ることができます。

4-3. フランジバックの調整

【使用上のご注意】

通常、フランジバックの調整は不要です。

どうしてもフォーカスが合わない場合は、別途ご相談ください。



5. OSDメニュー

5-1. OSDメニューの起動/ボタン操作

OSDメニューは本体にある[OSDメニュー操作ボタン]の[ENTER]ボタンを押すと表示されます。

OSDメニューには、現在の設定状態が表示されます。



[OSDメニュー操作ボタン]の機能は以下の通りです。

	ENTER	<ul style="list-style-type: none">・ OSDメニューの呼び出し・ OSDメニューの決定
	UP	<ul style="list-style-type: none">・ OSDメニューカーソルの上への移動。
	DOWN	<ul style="list-style-type: none">・ OSDメニューカーソルの下への移動。
	RIGHT	<ul style="list-style-type: none">・ 選択中のメニュー項目のモード切替・ 設定値の増加
	LEFT	<ul style="list-style-type: none">・ OSDメニューカーソルの下への移動。・ 設定値の減少

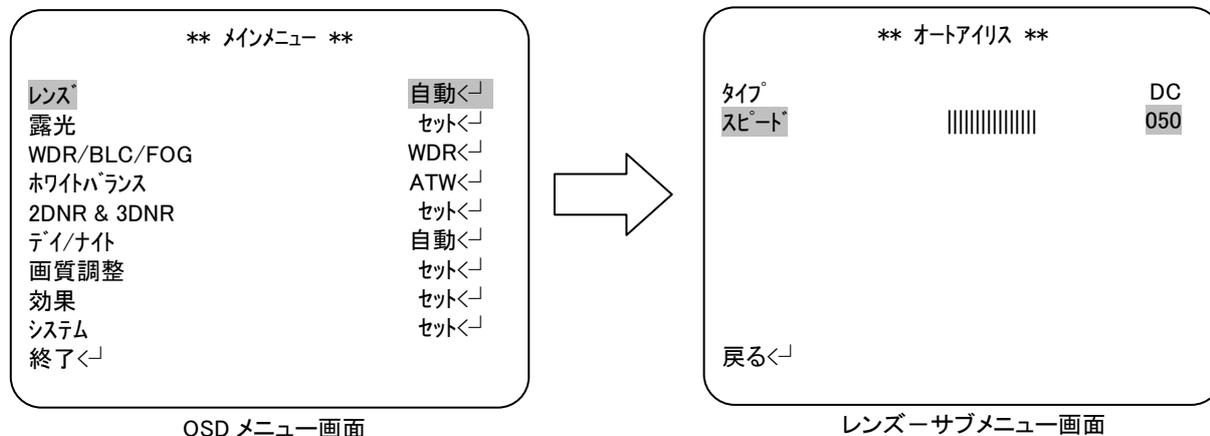
5-2. OSDメニュー一覧

OSDメニュー項目は、以下の通りです。

設定項目	内容	参照ページ
レンズ	レンズのオートアイリスを設定します。	17 ページ
露光	シャッターモードを設定します。	18 ページ
WDR/BLC/FOG	ワイドダイナミックレンジ機能を設定します。	19 ページ
ホワイトバランス	ホワイトバランスを調整します。	21 ページ
2DNR & 3DNR	2Dと3Dのノイズリダクションを設定します。	23 ページ
デイ/ナイト	デイ/ナイト設定をします。	24 ページ
画質調整	画質の調整をします。	27 ページ
効果	各種映像効果を設定します。	29 ページ
システム	各種システム設定をします。	33 ページ
終了 [↵]	OSDメニューを終了します。	---

ひとつ上のメニュー画面に移動する場合、[戻る]メニュー項目を選択してください。

例えばレンズの”自動[↵]”のように値の後ろに”[↵]”マークのある項目、詳細設定用サブメニューがあります。これらの項目は、[ENTER]ボタンを押してサブメニューを表示し、詳細設定をします。



5-3. OSDメニュー項目と初期値一覧

OSDメニューの設定項目、設定値、初期値は、以下の通りです。

出荷時設定（システム→復元（YES））を実行した場合、各設定値は初期値に戻ります。

ただし、言語（LANGUAGE）、プロトコル、ボーレート、カメラIDは以前の値を保持します。

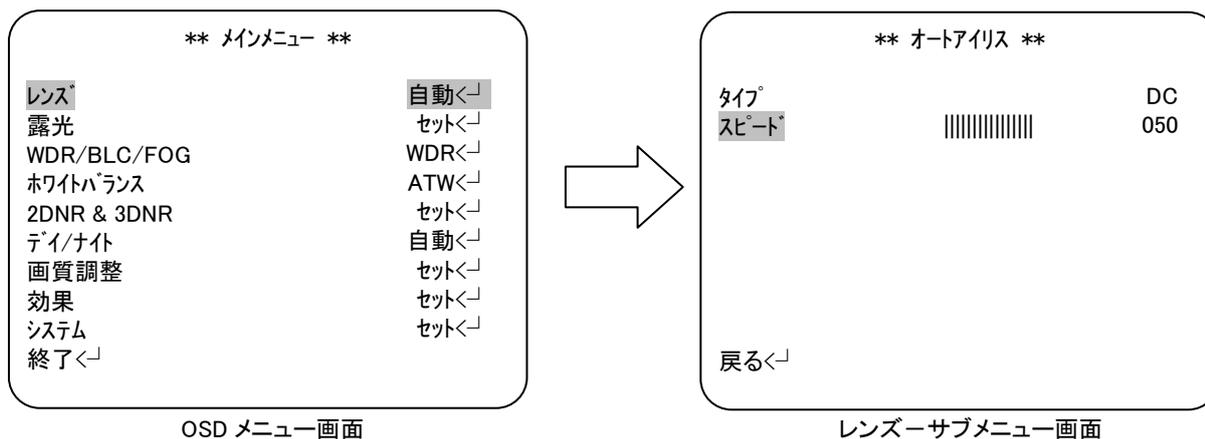
OSDメニュー項目	設定項目	設定値	初期値
レンズ	自動<┘	タイプ(DC*)、スピード(050) *表示のみで常にDCと表示	自動<┘
	マニュアル	----	
露光	シャッターモード	マニュアル、デイ/ナイト、オート（マニュアル）	セット<┘
	輝度、シャッター、シャッターMIN、シャッターMAX、低輝度、AGCゲイン、センスアップ	・マニュアル:輝度(132)、シャッター(1/100)、シャッターMIN(---)、シャッターMAX(---)、低輝度(---)、AGCゲイン(160)、センスアップ(---) ・デイ/ナイト:輝度(132)、シャッター(---)、シャッターMIN(---)、シャッターMAX(---)、低輝度(---)、AGCゲイン(160)、センスアップ(---) ・オート:輝度(132)、シャッター(---)、シャッターMIN(1/60)、シャッターMAX(1/100000)、低輝度(---)、AGCゲイン(160)、センスアップ(オフ)	
WDR/BLC/FOG	WDR<┘	レベル(185)、ダークエリア(MIDHIGH)、ブライエリア(050)	WDR<┘
	FOG RE. <┘	コントラスト(HIGH)、レベル(030)	
	オフ	----	
	逆光補正<┘	モード:オート エリア(---)、手動レベル(---)、自動レベル(010) (オートモード) モード:マニュアル エリア(下1/3)、手動レベル(MID)、自動レベル(---)	
ホワイトバランス	ATW<┘	スピード(239)、遷移時間(016)、ATW 枠設定(x1.0)	ATW<┘
	AWB	----	
	3200K<┘	Bゲイン(048)、Rゲイン(013)	
	6300K<┘	Bゲイン(035)、Rゲイン(025)	
	カラーリング制御<┘	----	
	マニュアル<┘	Bゲイン(035)、Rゲイン(025)	
	プッシュロック<┘	----	
2DNR & 3DNR	2DNR	LOW/MIDLOW/MID/MIDHIGH/HIGH/オフ (MID)	セット<┘
	3DNR	LOW/MIDLOW/MID/MIDHIGH/HIGH/オフ (MIDLOW)	
デイ/ナイト	自動<┘	LIVEレベル(表示のみ)、デイ→ナイト(003)、ナイト→デイ(025)、遷移時間(005)、バースト(オフ)、ナイトモード出力(5V)、ブライエリア(050)、輝度(---)	自動<┘
	外部<┘	ナイトモード入力(LOW)、バースト(オフ)	
	スケジュール<┘	デイ→ナイト(18:00)、ナイト→デイ(06:00)、バースト(オフ)	
	カラー	---	
	黒/白<┘	バースト(オフ)	
画質調整	解像度	LOW/MIDLOW/MID/MIDHIGH/HIGH/オフ (MIDHIGH)	セット<┘
	シャープネス	000~015 (006)	
	シャープ.SUP.	x0/x0.1/x0.2/x0.3/x0.4/x0.5/x0.6/x0.7/x0.8/x0.9/x1.0 (x0.5)	
	彩度	-050~050 (000)	
	低輝度彩度レベル	x0/x0.1/x0.2/x0.3/x0.4/x0.5/x0.6/x0.7/x0.8/x0.9/x1.0 (x0.5)	
	コントラスト	-032~031 (000)	
	色相	-050~050 (000)	
	ミラー	ノーマル、垂直、ミラー、回転 (ノーマル)	
	白画素補償<┘	スタート セット<┘ レベル 000~010 (004)	
	効果	動体検出	
プライバシマスク		オフ (オフ) オン<┘ エリア選択(1/15)、モード(オン)、ポジション(セット<┘)、カラー(黒)、透過(0.50)、モザイク(オフ)	
スタビライザ		オフ、オン (オフ)	
デジタルズーム		オフ (オフ) オン<┘ ズーム(001)、パン(000)、チルト(000)	
明部補償		- (初期値は-) セット<┘ モード(オフ)、クリップレベル(030)、スケール(010)	
POS./NEG.		オフ、オン (オフ)	
カメラタイトル		オフ、オン<┘ (オフ)	
日付/時間		オフ、オン<┘ (オフ)	
システム	通信設定<┘	カメラID 000~255 (001) カメラID表示 オフ/上-左/上-右/下-左/下-右 (オフ) ボーレート 2400/4800/9600/19200/38400 (2400) プロトコル PELCO D/PELCO P (PELCO D)	セット<┘
	同期方式	内部	
	言語(LANGUAGE)	日本語、ENGLISH (日本語)	
	ファームウェア	ファームウェア情報を表示	
	復元	NO、YES (NO)	

5-4. OSD メニュー設定

①レンズ

レンズのオートアイリスを設定します。

- ・OSD メニュー画面が表示されたら、[UP]/[DOWN]ボタンで、“レンズ”に合わせ[LEFT]/[RIGHT]ボタンで“自動”、“手動”を選択します。
“自動”の場合、[ENTER] ボタンを押して、詳細設定をします。
- ・必要な項目を選択して[LEFT]/[RIGHT]ボタンで設定値を選びます。



使用するレンズに応じて選択します。

- ・“自動”：DC オートアイリスレンズを使う場合に設定します。
- ・“マニュアル”：マニュアルレンズを使う場合に設定します。

*”自動”

-タイプ

レンズタイプを表示します。

DC オートアイリスレンズ、マニュアルレンズとも“DC”と表示されます。

-スピード

DC レンズのスピードは、設定値に応じて決まります。

(設定値： 000~255)

*”手動”

マニュアルレンズを使う場合のモードです。

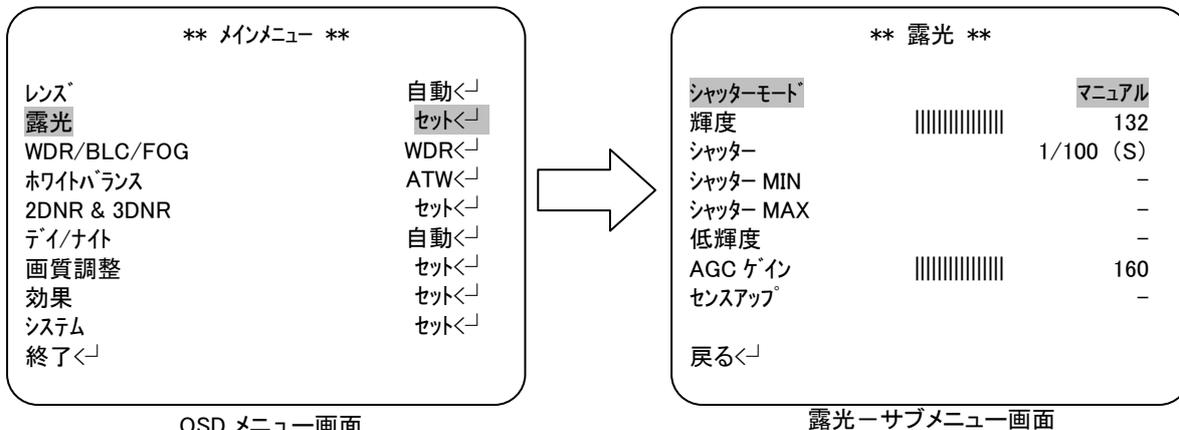
【お知らせ】

本機は、Video オートアイリスレンズには対応しておりません。

②露光

シャッターモードを設定します。

- ・OSD メニュー画面が表示されたら、[UP]/[DOWN]ボタンで、“露光”に合わせ [ENTER] ボタンを押して、詳細設定をします。
- ・必要な項目を選択して[LEFT]/[RIGHT]ボタンで設定値を選びます。



*シャッターモード

シャッタースピードを調整します。

“マニュアル”、“デイ/ナイト”、“オート”の3つのモードから選択します。

- ・“マニュアル”：スピードをマニュアルで設定します。
- ・“デイ/ナイト”：デイ用とナイト用のスピードを個別に設定します。
- ・“オート”：スピードを自動で設定します。

*輝度

露光メニュー画面表示中に[UP]/[DOWN]ボタンで、000～255の範囲で明るさを調整します。

*シャッター/シャッター-MIN/シャッター-MAX

シャッタースピードの設定範囲は 1/60 から 1/100,000 (sec) です。

*低輝度

[LEFT]/[RIGHT]ボタンで低輝度を調整します。（設定値：x0.25、x0.5、x0.75、x1.0）

*AGC ゲイン

暗いところでの撮影時、自動的に感度を上げます。

設定値を大きくするほど、画面を明るく出来ます。ただし、大きくするとノイズも増加します。

（設定値：000～200）

*センスアップ

センスアップは、周囲が暗くなったときに、光量の変化を自動的に検出して鮮明な画像を維持するようになる機能です。

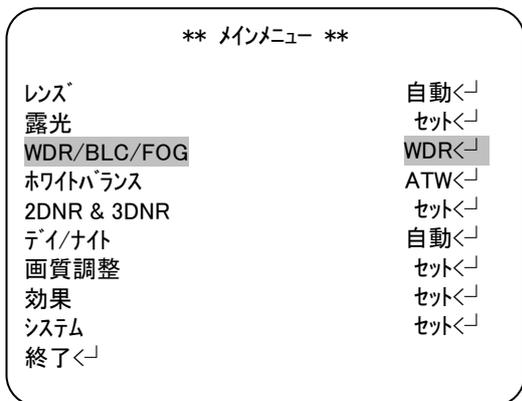
[LEFT]/[RIGHT]ボタンで値を選択します。

（設定値：x2, x4, x8, x16, x32, x64, x128, x256, x512、オフ）

③WDR/BLC/FOG RE.

ワイドダイナミックレンジ機能を設定します。

- ・OSDメニュー画面が表示されたら、[UP]/[DOWN]ボタンで、“WDR/BLC/FOG”に合わせ [LEFT]/[RIGHT]ボタンでモードを選択します。

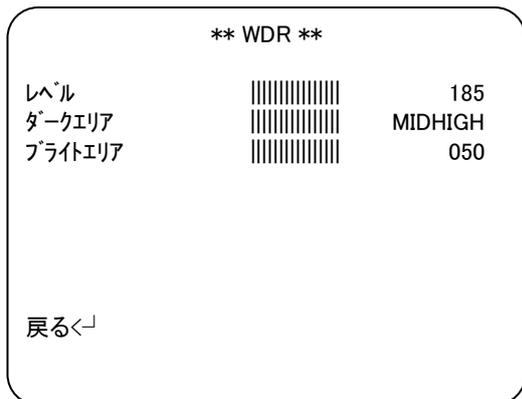


”WDR”、“FOG RE”、“オフ”、“逆光補正”から選択します。

OSDメニュー画面

*WDR (Wide Dynamic Range : ワイドダイナミックレンジ)

明暗差のある場所で使用する場合、このモードを使うと明暗領域の両方がみやすい映像になります。



WDR-サブメニュー画面

- レベル

全体のブライトネス（明るさ）を調整します。

（設定値：000～255）

- ダークエリア

ダークエリアのブライトネス（明るさ）を調整します。

（設定値：LOW, MIDLOW, MID, MIDHIGH, HIGH）

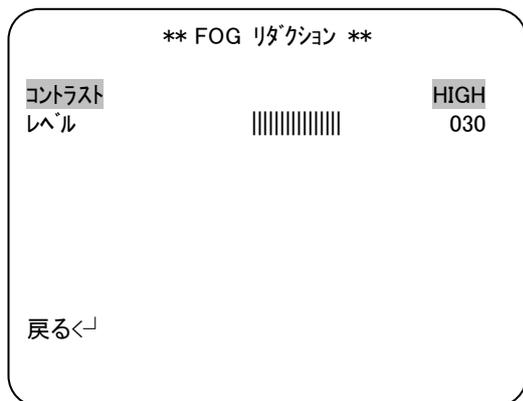
- ブライトエリア

ブライトエリアのブライトネス（明るさ）を調整します。

（設定値：000～255）

*FOG RE. (Fog Reduction : 霧低減)

霧のある場所で使用する場合、このモードを使うとみやすい映像になります。



WDR-サブメニュー画面

- コントラスト

画面のコントラストを調整します。 (設定値 : LOW, MIDLOW, MID, MIDHIGH, HIGH)

- レベル

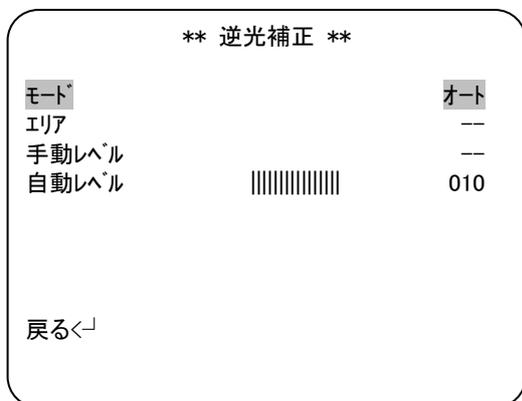
全体のレベルを調整します。 (設定値 : 000~063)

*オフ

”オフ”を選択すると WDR (ワイドダイナミックレンジ) 機能は適用されません。

*BLC (逆光補正 : Back Light Compensation)

強い逆光環境で、このモードを使うと撮影対象物と明るい背景の両方を撮影します。



“オート”、“マニュアル”から選択します。

逆光補正-サブメニュー画面

- オート

逆光補正を自動的に行うレベルを”自動レベル”の値で調整します。

(設定値 : 000~015)

- マニュアル

”エリア”と”手動レベル”を使って、手動で逆光補正を行うレベルを調整します。

初期値は、”エリア”は”下 1/3”、 ”手動レベル”は MID です。

それぞれの設定値は、以下の通りです。

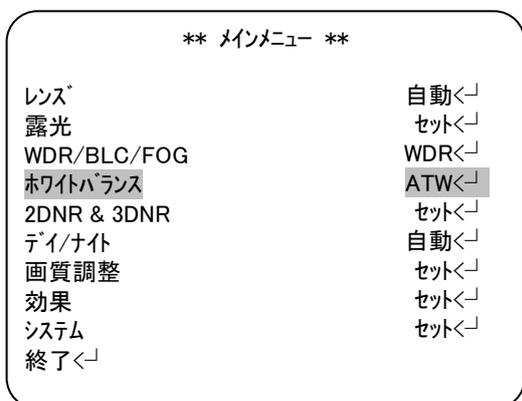
エリア : 下 1/3、 上 2/3、 下 2/3、 左 2/3、 右 2/3

手動レベル : HIGH、 MID、 LOW

④ホワイトバランス

ホワイトバランスを調整（画面の色調整）します。

- ・OSD メニュー画面が表示されたら、[UP]/[DOWN]ボタンで、“ホワイトバランス”に合わせ [LEFT]/[RIGHT]ボタンでモードを選択します。
- ・必要な項目を選択して[LEFT]/[RIGHT]ボタンで設定値を選びます。



OSD メニュー画面

ATW、AWB、3200K、6300K、カラーローリング制御、マニュアル、プッシュロックから選択します。

*ATW（Auto Tracking White Balance：ホワイトバランス自動追尾）

このモードは、色温度が 1800° K～10500° K の範囲で使用します。

（例：蛍光灯環境、外部環境、ナトリウム灯環境、トンネル内環境など）

*AWB（Auto White Balance：自動ホワイトバランス）

このモードは、各環境で自動的にホワイトバランスを調整します。

*3200K

色温度が概ね 3200° K の環境で使用します。（蛍光灯環境など）

必要に応じて B ゲイン（青色ゲイン調整）と R ゲイン（赤色ゲイン調整）を調整します。

*6300K

色温度が概ね 6300° K の環境で使用します。（屋外環境など）

必要に応じて B ゲイン（青色ゲイン調整）と R ゲイン（赤色ゲイン調整）を調整します。

*カラーローリング制御（ANTI CR（Color rolling suppression））

蛍光灯の色が周期的に変化する場合、このモードを使うと色の変化が軽減されます。

画面の指示に従って、設定してください。設定に数秒かかります。設定が終了すると、メッセージが画面に表示されます。

*マニュアル

マニュアル調整モードは、B ゲイン（青色）と R ゲイン（赤色）の値を手動で増減することによりお使用の環境により最適な調整が可能です。

・B ゲイン（青色ゲイン調整）：000～255

・R ゲイン（赤色ゲイン調整）：000～255

*プッシュロック

使用環境にホワイトバランスをロックします。

画面の指示に従って設定を行ってください。設定に数秒かかります。設定が完了すると画面にメッセージが表示されます。

最適な設定を行うために、お使いの環境でカメラを白紙に向けて画面いっぱいに写し、[ENTER]ボタンを押して設定します。また、条件が変化した場合、再度、同じ方法で調整してください。

【参考】

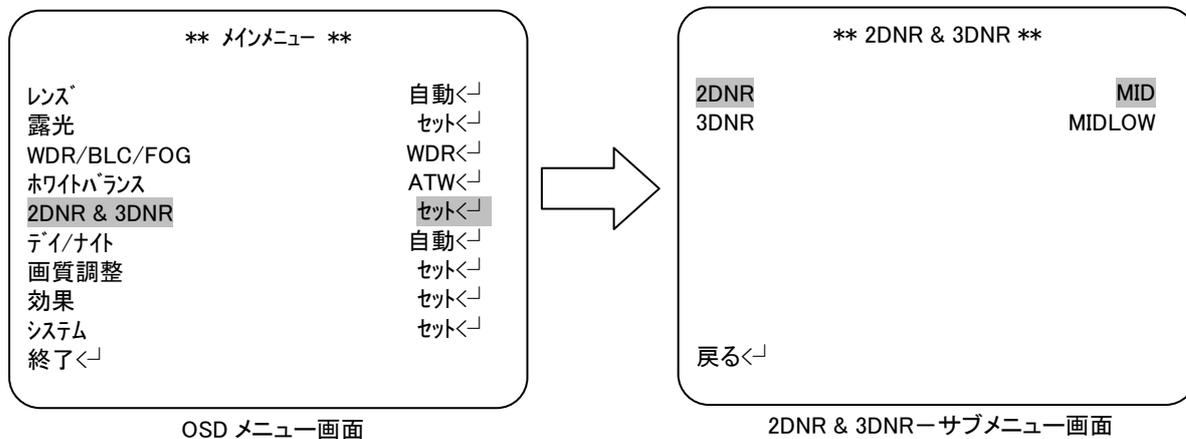
以下のような環境でホワイトバランスが完全に調整できない場合、“プッシュロック”モードを使用してください。

- ・色温度が非常に高い環境の場合
- ・暗闇に囲まれている環境の場合
- ・常に光が変わるような蛍光灯環境の場合
- ・特定の色にかたよっている環境の場合

⑤2DNR & 3DNR (Dynamic Noise Reduction)

2Dと3Dのノイズリダクションを設定します。

- ・OSDメニュー画面が表示されたら、[UP]/[DOWN]ボタンで、”2DNR & 3DNR”に合わせ [ENTER] ボタンを押して、詳細設定をします。
- ・必要な項目を選択して、[LEFT]/[RIGHT]ボタンで設定値を選びます。



ノイズレベルが減少すると、カメラ映像は、見た目に向上しますが、多少、甘くなる場合があります。映像を録画する場合、ノイズが減少するとファイルサイズも小さくなる効果が期待できます。ゲインレベルの変化に伴い、低照度環境下の背景ノイズは自動的に減少します。

⑥デイ/ナイト

デイ/ナイト設定をします。

- ・OSD メニュー画面が表示されたら、[UP]/[DOWN]ボタンで、“デイ/ナイト”に合わせ [LEFT]/[RIGHT]ボタンでモードを選択します。
- ・必要な項目を選択して、[LEFT]/[RIGHT]ボタンで設定値を選びます。

** メインメニュー **	
レンズ	自動<┘
露光	セット<┘
WDR/BLC/FOG	WDR<┘
ホワイトバランス	ATW<┘
2DNR & 3DNR	セット<┘
デイ/ナイト	自動<┘
画質調整	セット<┘
効果	セット<┘
システム	セット<┘
終了<┘	

自動、外部、スケジュール、カラー、黒/白から選択します。

OSD メニュー画面

【参考】

- ・デイ/ナイト機能をご使用になる場合、デイトナイト対応（IR 対応）レンズを使用してください。ピンとずれが発生する場合があります。
- ・カラーモード⇄黒/白モード切替時、カメラ本体からカチッという音が聞こえますが、これは IR カットフィルターが動作する音であり異常ではありません。
- ・デイ→ナイトとナイト→デイの設定値は5以上あげるようにしてください。デイモードとナイトモードを交互に変更し続ける場合があります。

*自動

** デイ/ナイト 自動 **		
LIVE レベル		063
デイ→ナイト		003
ナイト→デイ		025
遷移時間		005
バースト		オフ
ナイトモード出力		5V
ブライトエリア		050
輝度		-
戻る<┘		

デイ/ナイト自動-サブメニュー画面

設定した値に従って、自動的にデイモード（カラー映像）とナイトモード（黒/白映像）を切り替えます。

- ・LIVE レベル: 現在の明るさを表示します。（表示のみで変更できません）
- ・デイ→ナイト: LIVE レベルが設定値よりも小さくなるとデイモードからナイトモードに切り替えます。（設定値：0～63）

- ・ナイト→デイ: LIVE レベルが設定値よりも大きくなるとナイトモードからデイモードに切り替えます。(設定値: 0~63)

【参考】

赤外線照明環境で、デイ/ナイトモードが頻繁に切り替わる場合、ナイト→デイ切替設定値を大きくしてみてください。

- ・遷移時間: 遷移時間は、設定した時間が経過した後に、デイ/ナイトを切り替えることで、頻繁なデイ/ナイト切り替えを防止します。設定値は 0~255 秒です。

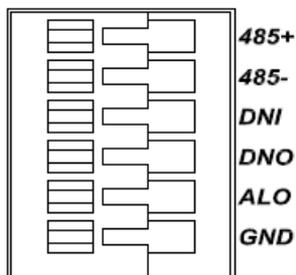
- ・バースト: 黒/白モードでお使いの場合、バーストをオフするとカラーノイズを低減します。しかし、すべてのデジタルレコーダーがカラーバースト信号のない映像信号を処理できるとは限りません。もし、黒/白モードからカラーモードに変更できなくなった場合、バーストをオンに戻してください。

【参考】

バースト機能は、自動、外部、SCHEDULE、黒/白モードの時に選択可能です。

- ・ナイトモード出力

出力	GND	5V
DNO SYSTEM		
カラー (デイ)	5V	GND
黒/白 (ナイト)	GND	5V

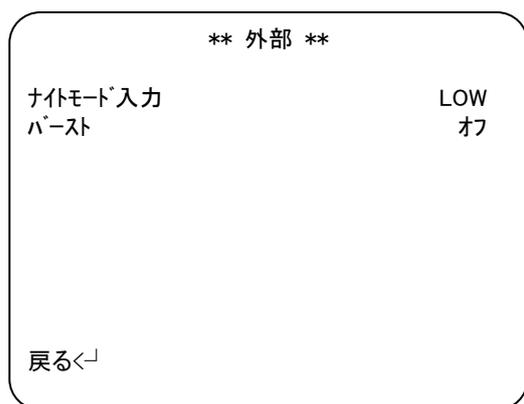


カメラのデイ/ナイトモードが変更されると、通信端子の DNO 端子に、警告が出力されます。

【設置上のご注意】

DNO (NIGHT OUTPUT) 端子は、TTL レベルです。

*外部



外部-サブメニュー画面

外部モードは、外部信号を使って”デイ/ナイト”モードを切り替えます。

例えば、カメラの”デイ/ナイト”モードの切り替えと赤外線照明を同期させたい場合に使います。

-ナイトモード入力：ナイト検出の入カレベルを選択します。

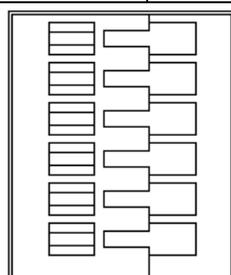
- ・LOW：入力レベルがLOWの時=”黒/白(ナイト)”モード、HIGHの時=”カラー(デイ)”モードになります。

- ・HIGH：入力レベルがHIGHの時=”黒/白(ナイト)”モード、LOWのとき”カラー(デイ)”モードになります。

HIGH : 3~12V もしくは OPEN

LOW : GND

入力		LOW	HIGH
		カラー(デイ)	黒/白(ナイト)
SYSTEM DNI	HIGH	カラー(デイ)	黒/白(ナイト)
	LOW	黒/白(ナイト)	カラー(デイ)



外部の赤外線照明を使用する場合、カメラのデイ(カラー)モードとナイト(黒/白)モードを外部制御端子のDNIピン経由で切り替えます。

【設置上のご注意】

DNI (DAY NIGHT INPUT) 端子は、TTLレベルです。

*スケジュール

設定した時刻で切り替えるモードです。(初期値：デイ→ナイト=18:00、ナイト→デイ=06:00)

*カラー

デイ用のカラー映像固定モードです

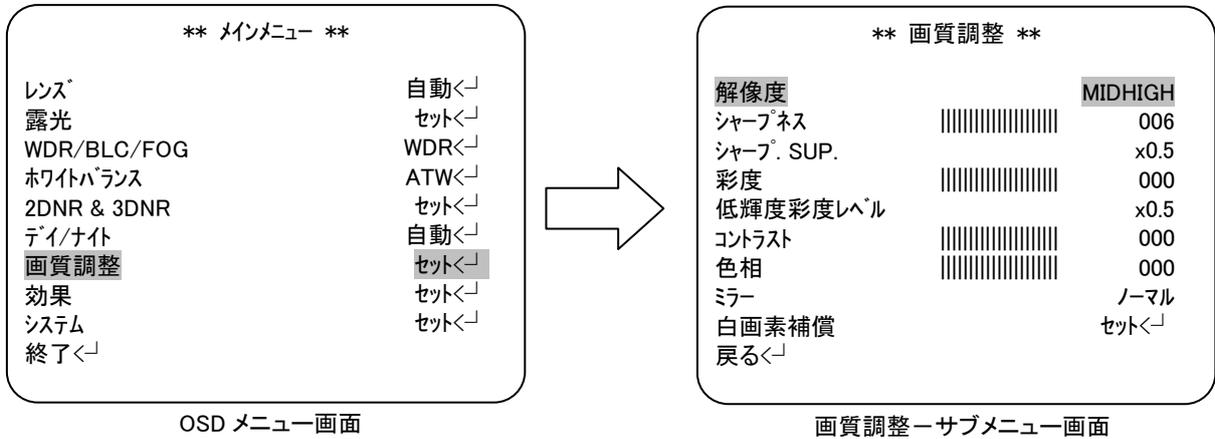
*黒/白

ナイト用の黒/白映像固定モードです。

⑦画質調整

画質の調整をします。

- ・ OSD メニュー画面が表示されたら、[UP]/[DOWN]ボタンで、“画質調整”に合わせ[ENTER]ボタンを押して、詳細設定をします。
- ・ 必要な項目を選択して、[LEFT]/[RIGHT]ボタンで設定値を選びます。



*解像度

HIGH、MIDHIGH、MID、MIDLOW、LOW、OFF から選択します。

*シャープネス

値を大きくすると、映像の輪郭がくっきりして識別しやすくなります。あまり大きな値を設定するとノイズが増加して映像に影響が生じます。(設定値：000~015)

*シャープ.SUP. (SHARPNESS SUPPRESION)

低照度環境でのシャープネスを調整します。(設定値：000~015)

*彩度

彩度の調整をします。(設定値：-050~050)

*低輝度彩度レベル

低輝度環境での彩度の調整をします。(設定値：x0~x1.0)

*コントラスト

コントラストの調整をします。(設定値：-032~031)

*色相

色相の調整をします。(設定値：-050~050)

*ミラー

カメラの取付状態に応じて、映像の表示を”ノーマル”、”垂直 (垂直方向に回転)”、”ミラー (水平方向に回転)”、”回転 (水平&垂直方向に回転)”の中から選びます。

*白画素補償

有効に機能していない画素がある場合、レンズを手などで覆って、この機能を実行することで、その画素を補償します。

[ENTER]ボタンを押して、サブメニュー画面を表示して詳細設定をします。

”スタート”を選択して[ENTER]ボタンを押すと CCD の白画素（有効に機能していない画素）をサーチして登録します。

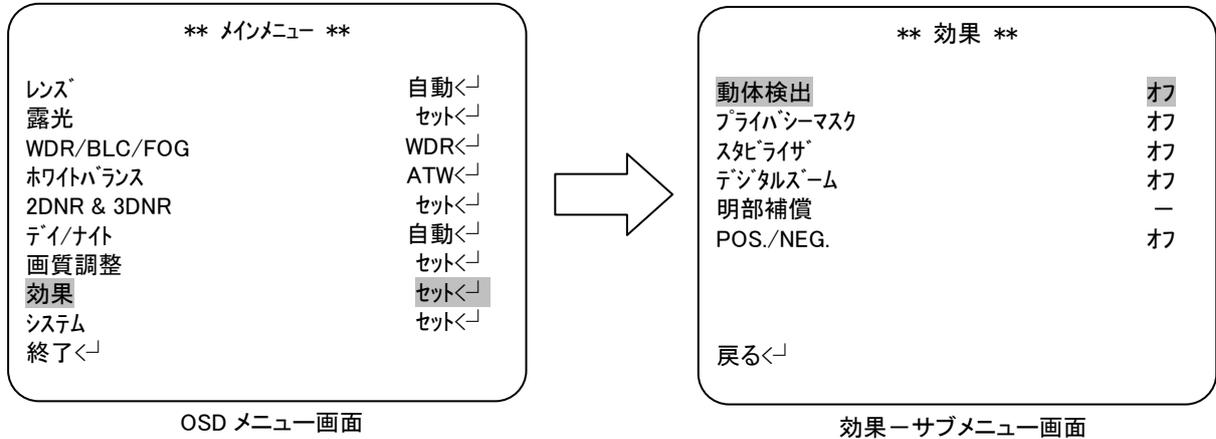
レベル値を下げると白画素が検出しやすくなり、上げると検出しにくくなります。

（設定値：000～010）

⑧効果

各種映像効果を設定します。

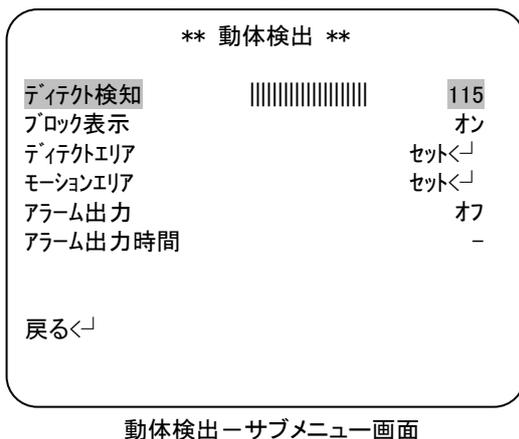
- OSDメニュー画面が表示されたら、[UP]/[DOWN]ボタンで、“効果”に合わせ[ENTER]ボタンを押して、詳細設定をします。
- 必要な項目を選択して、[LEFT]/[RIGHT]ボタンで設定値を選びます。



*動体検出

オン/オフを設定します。

オンを選択し[ENTER]ボタンを押して、詳細設定をします。



- ディテクト検知

検知感度は0~127の範囲で設定します。値を大きくすると、感度が上がります。

- ブロック表示

オン/オフを設定します。

- ディテクトエリア

[ENTER]ボタンを押して、サブメニューを表示し、[UP]、[DOWN]、[LEFT]、[RIGHT]ボタンでディテクトエリアを設定し、[ENTER]ボタンの長押しで終了します。

- モーションエリア

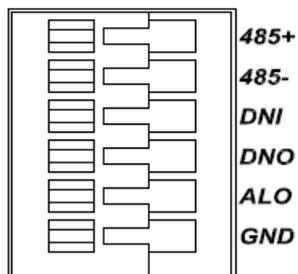
[ENTER]ボタンを押して、サブメニューを表示し、モーションエリアを設定します。

- アラーム出力 (ALARM OUT= ALO)

警告を出力する場合、オンに設定します。

警告用機器をカメラ背面にある通信端子の ALO ピンに接続します。

(接続時には、すべての電源をオフしてください)



【設置上のご注意】

ALO (ALARM OUT) 端子は、TTL レベルです。

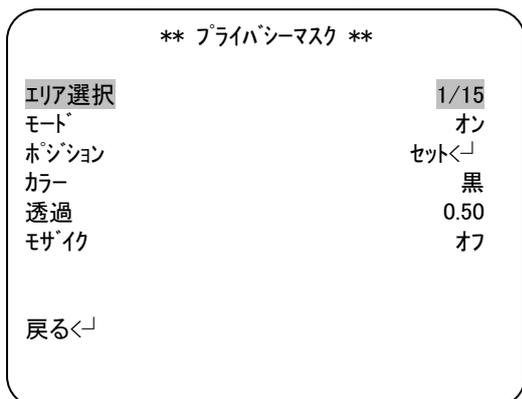
- アラーム出力時間

アラーム出力時間は警告を出力する時間で、000~255 秒の範囲で設定します。

*プライバシーマスク

オン/オフを設定します。

”オン”を選択し [ENTER] ボタンを押して、詳細設定をします。



プライバシーマスクサブメニュー画面

- エリア選択

15 個の領域をプライバシーマスク設定します。

- モード

”オン”を選択すると、プライバシーマスクされた領域が表示されます。”オフ”にするとこの領域は表示されません。

- ポジション

[ENTER] ボタンを押して、詳細設定をします。選択中のエリアの四辺形の四隅を上下左右ボタンを動かすことでマスク領域のサイズや形を変更します。[ENTER] ボタンを押すたびに、左上→右上→左下→右下の順に四隅の調整点を選択します。右下選択中に [ENTER] ボタンを押すとプライバシーマスクサブメニューに戻ります。

- カラー

[LEFT]/[RIGHT] を使って、各マスク領域の色を設定します。色は黒、赤、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ、白から選択します。

- 透過

[LEFT]/[RIGHT] ボタンで、各マスク領域の透過度を設定します。

0.00、0.50、0.75、1.00 から選択します。

透過を 1.00 に設定すると、モザイクは選択できません。

- モザイク

[LEFT]/[RIGHT] ボタンで、選択したマスク領域をモザイクで表示するかどうかを選択します。

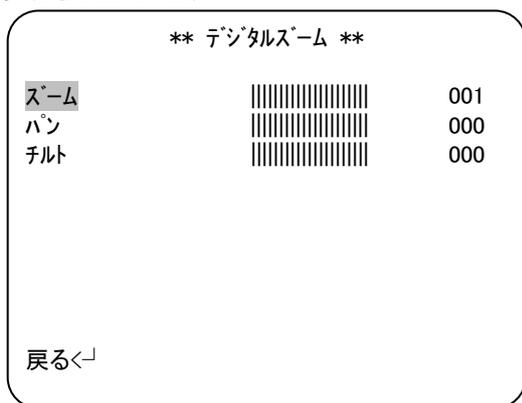
(設定値：オフ/オン)

*スタビライザ (ぶれ補正)

[LEFT]/[RIGHT] ボタンで、スタビライザを使うかどうかを選択します。

オンにするとデジタルズームは無効になります。(設定値：オフ/オン)

*デジタルズーム



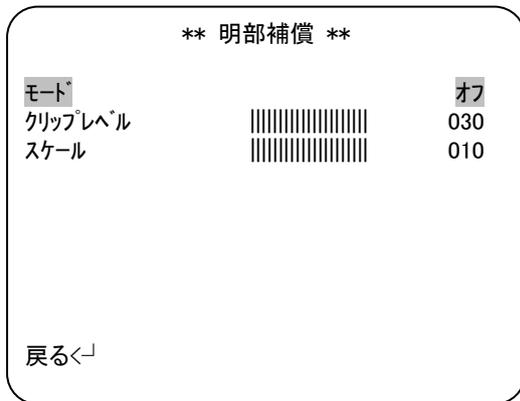
デジタルズーム-サブメニュー画面

"オン"を選択し [ENTER] ボタンを押して、詳細設定をします。

ズームは 001~256 (ズーム倍率 1 から 256 倍)、パンは -512~511 (水平方向のズームイン)、チルトは 001~256 (垂直方向のズームイン) から選択します。

*明部補償

WDR/BLC/FOGRE.設定が”オフ”と”逆光補正”の時は、”セット<”と表示され、明部補償を設定できます。WDRとFOGRE.の設定の時は、”-”と表示され、明部補償設定はできません。



明部補償-サブメニュー画面

- モード
”オフ”、”オン”、”オート”から選択します。
- クリップレベル
000～255 の値から選択します。
- スケール
000～015 の値から選択します。

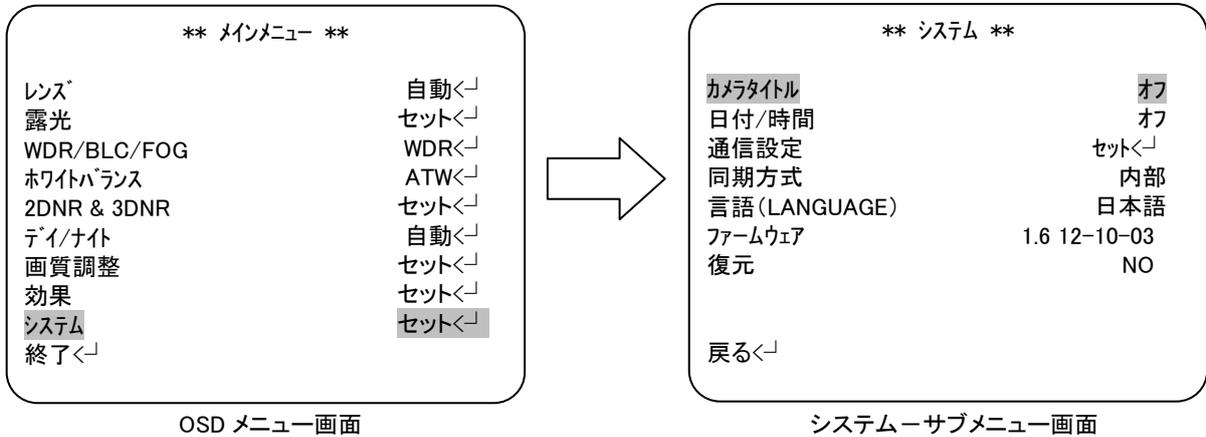
*POS. / NEG.

ポジ/ネガ反転表示を選択します。オン/オフで反転表示の有効/無効を選択します。
(設定値：オン/オフ)

⑨システム

各種システム設定（カメラタイトル、日付/時間、同期方式、言語、ファームウェア情報表示、復元）をします。

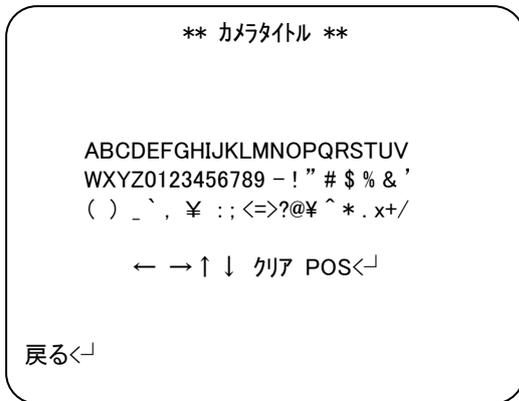
- ・OSDメニュー画面が表示されたら、[UP]/[DOWN]ボタンで、“システム”に合わせ [ENTER] ボタンを押して、詳細設定をします。
- ・必要な項目を選択して、[LEFT]/[RIGHT]ボタンで設定値を選びます。



【お知らせ】

上記に記載のファームウェア情報は、参考です。実際のバージョンは製品により異なります。

*カメラタイトル



カメラタイトルサブメニュー画面

“オン”を選択し [ENTER] ボタンを押して、カメラタイトルを設定します。

- ← → ↑ ↓

編集したいカメラタイトル文字にカーソルを移動します。

(←, →, ↑, ↓を選択し、[ENTER]ボタンを押して移動します)

- クリア

1文字を消去する場合に使用します。

- POS<↵

カメラタイトルの表示位置を調整します。

*日付/時間

[LEFT]/[RIGHT]ボタンで”オン<”を選択し[ENTER]ボタンを押して、詳細設定をします。

- 各項目の設定値は以下の通りです。

・時間：[LEFT]/[RIGHT]ボタンで時、分、秒を設定します。

設定が終わったら、[ENTER]ボタンを押すと次の項目の設定欄に移動します。

・日付：[LEFT]/[RIGHT]ボタンで時、分、秒を設定します。

設定が終わったら、[ENTER]ボタンを押すと次の項目の設定欄に移動します。

・フォーマット：[LEFT]/[RIGHT]ボタンで日付の表示形式を設定します。

YY:MM:DD→MM:DD:YY→DD:MM:YYの順に切り替わり、選択した形式で日付欄を表示します。

*通信設定

[LEFT]/[RIGHT]ボタンで”セット<”を選択し[ENTER]ボタンを押して、詳細設定をします。

- 電源投入直後に5秒間、カメラID、プロトコル、ポーレートを表示します。

- カメラID、プロトコル、ポーレートの設定を変更した場合、通信設定画面を終了した後に設定を反映します。これは、リモートアクセスにより不用意に切断される場合の防止策です。

- 各項目の設定値は以下の通りです。

・カメラID（設定値：1～1024）

・カメラID表示：カメラIDを非表示とするか、表示する場合の表示位置を設定します。

（設定値：オフ/上-左/上-右/下-左/下-右）

・ポーレート（設定値：2400/4800/9600/19200/38400）

・プロトコル（設定値：PELCO D、PELCO-P）

*同期方式

本機の同期方式は”内部”モードのみです。

*言語（LANGUAGE）

[LEFT]/[RIGHT]ボタンで言語を選択します。対応言語は日本語、英語です。

*ファームウェア

実際の製品のファームウェア情報を参照下さい。（本書に記載の情報は参考です）

*復元

[LEFT]/[RIGHT]ボタンで”NO”か”YES”を選択します。

初期設定値に戻す場合は”YES”を選んで、[ENTER]ボタンを押します。

【参考】

以下の情報は[復元]を実行しても初期値には戻りません。

言語（LANGUAGE）、プロトコル、ポーレート、カメラID

6. 故障かな？

修理をご依頼される前に、以下の表で症状をご確認ください。

症状	調べる箇所・対策	参照ページ
映像が映らない。	同軸ケーブルが正しく接続されていますか？ →接続を確認してください。	11 ページ
映像が暗い。	[露光]→[輝度]の値が低くなっていませんか？ →適切な値に調整してください。	18 ページ
映像がちらつく。	電源周波数が 50Hz 地域にてちらつきが発生する場合、[露光]→[シャッターモード]を[マニュアル]にしてシャッターを [1/100 (S)]に設定してください。	18 ページ
映像の色が時間とともに変化する。	WDR/BLC/FOG 機能が[WDR]、[FOG RE.]のとき、蛍光灯照明下では時間とともに色が変わることがありますが、故障ではありません。 [ホワイトバランス]の[カラーローリング制御]を選択すると軽減されます。	19 ページ
映像が白黒になる。	[デイ/ナイト]を[自動]にしている場合、暗い場所では自動的に白黒撮影に切り換ります。 白黒撮影を行いたくない場合、[デイ/ナイト]を[カラー]にして下さい。	24 ページ
色調がおかしい (赤味がかっている、青味がかっている)。	[ホワイトバランス]を設定しなおしてください。	21 ページ

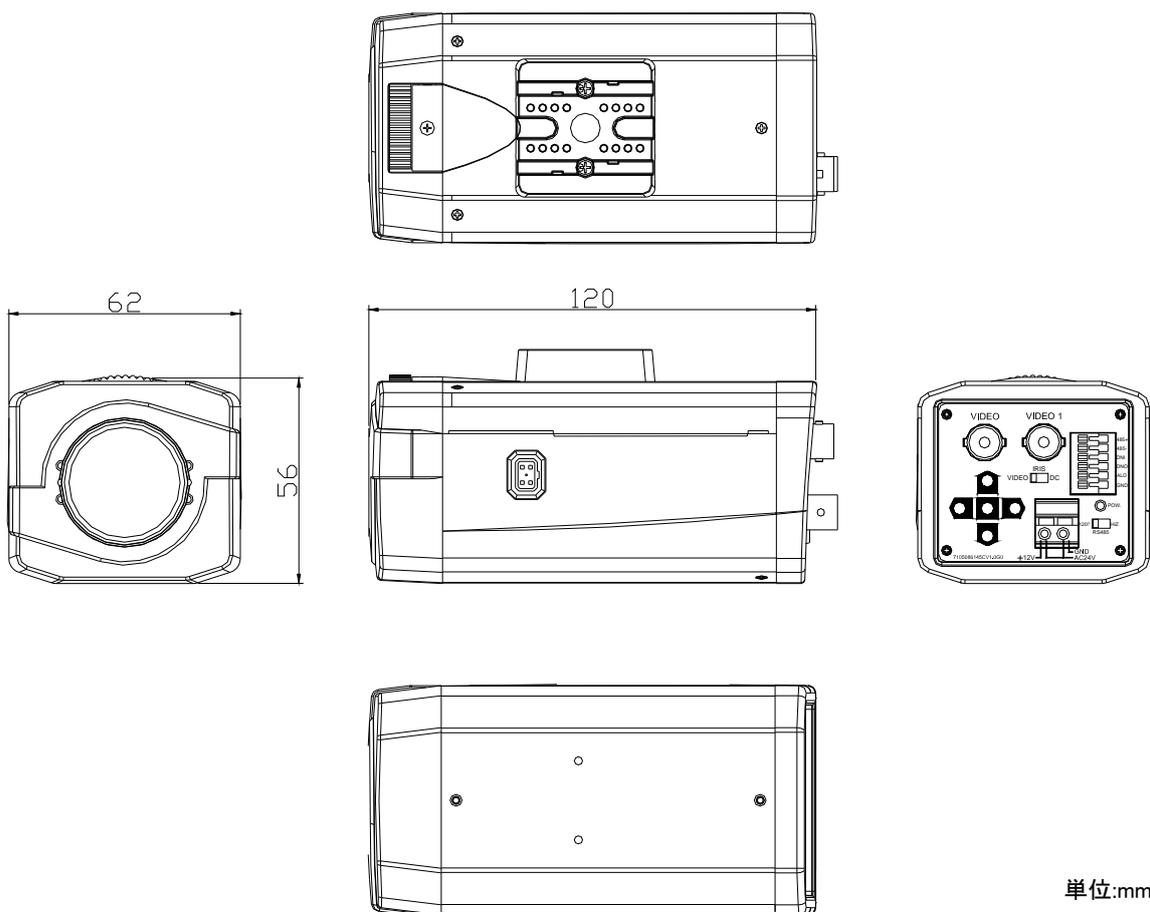
7. 仕様/外形寸法図

【仕様】

商品名	ワイドダイナミックカメラ
型式	SCB-6200WD
カメラ部	
撮像素子	1/3 型インターライン転送方式 CCD
有効画素数	約 48 万画素、976 (水平) × 494 (垂直)
映像出力	1.0Vp-p 75Ω (BNC)
同期方式	内部同期方式
テレビジョン方式	NTSC 方式
解像度	水平：680TV 本以上 (中心部)
ワイドダイナミックレンジ	60dB
最低被写体照度	カラー:0.02 lx、白黒:0.01 lx (F=1.0)
ホワイトバランス	ATW/AWB/カラーローリング制御/マニュアル/プッシュロック
SN 比	52dB 以上 (AGC OFF 時)
デジタルノイズリダクション	2D & 3D 画像処理
画像補正	WDR/BLC/FOG RE.
電子シャッター	オート:1/60~1/100,000 秒、マニュアル:1/60~1/2000 秒、 デイ/ナイト:デイ 1/60~1/2000 秒、ナイト 1/60~1/2000 秒
電子感度アップ	最大 512 倍
フリッカーレス	1/100 秒
AGC	0~200 の範囲で調節可能 (-6~44dB)
モーション検知	ON/OFF (24×12 ゾーン)
デイナイト	自動/ EXTERNAL/スケジュール/カラー/黒/白
プライバシーマスク	ON/OFF (15 箇所)
画像反転	ノーマル/垂直/ミラー/回転
デジタルズーム	最大 256 倍
レンズ部	
レンズマウント	CS マウント

一般仕様	
電源	専用カメラ駆動ユニットより供給または DC12V（併用不可）
消費電力	2.5W（最大）
使用温度範囲	-10℃～+50℃
使用湿度範囲	20%～80%RH（結露なきこと）
外形寸法	W62×H56×D120 mm（突起部含まず）
質量	約 350g
材質	アルミニウム
付属品	クイックインストレーションガイド、安全上のご注意、保証書、カメラマウント、カメラマウント取付用 M2.5X3 ネジ X2

【外形寸法図】



【製品に関するお問い合わせ先】

セルコ株式会社 カスタマサポート室

E-mail : support@selco.ne.jp

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275

セルコ株式会社

〒607-8326

京都市山科区川田御出町 14 番 3

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275

AT-418-88